



北九州スマートコミュニティ創造事業

ダイナミックプライシング(レベル2~5実施後)の状況について

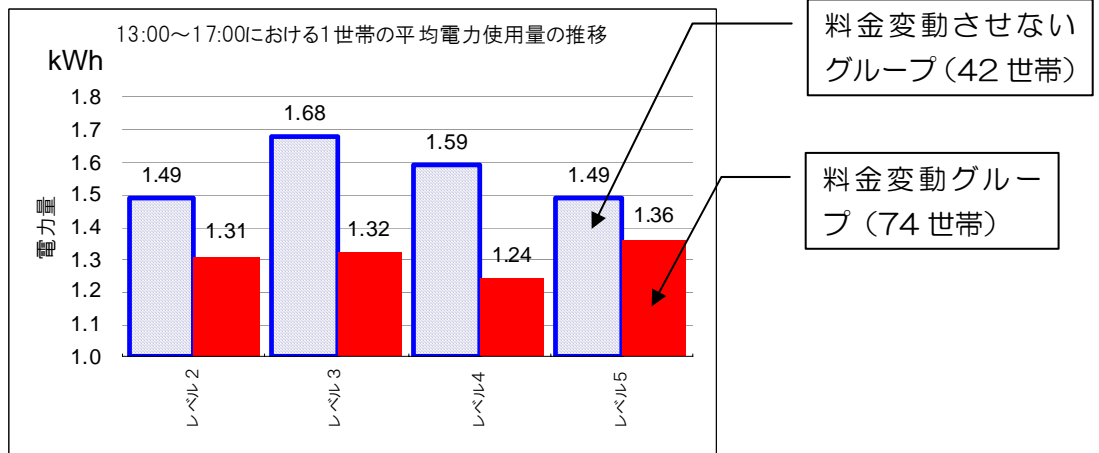
北九州スマートコミュニティ創造事業では、7月5日(木)のダイナミックプライシング(DP)初回発動(レベル2)に引き続き、7月12日(木)までにレベル2からレベル5を一通り発動しましたので、その状況を報告します。

1 プライシングの発動状況

ダイナミックプライシングの発動状況は以下の通り。

月	日	曜日	予想最高気温	最高気温	レベル	ピーク時 電力料金単価
6	29	金	---	29.1	1	15円/kWh
7	5	木	31	29.9	2	50円/kWh
	6	金	30	30.7	3	75円/kWh
	11	水	30	28.3	4	100円/kWh
	12	木	32	31.6	5	150円/kWh

2 13:00~17:00における1世帯の平均電力使用量比較

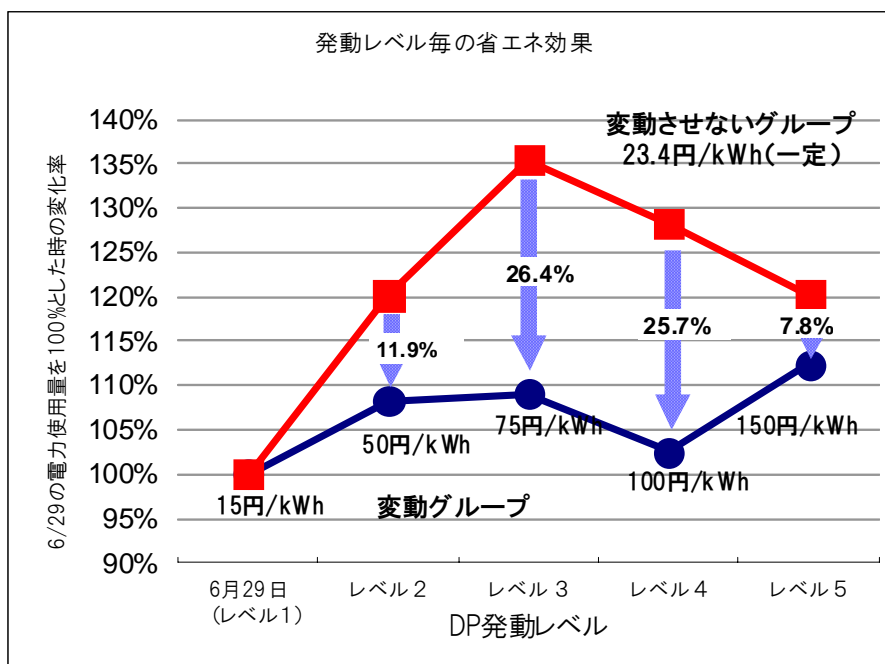


電気料金を一時的に引き上げた時間帯(13:00~17:00)において、料金変動グループの方が、電力使用量が平均16.1%少なくなっている。

13:00~17:00における1世帯の平均電力使用量

	変動なし	変動あり	削減量(削減率)
レベル2実施日	1.49kWh	1.31kWh	▲0.18kWh(▲12.1%)
レベル3実施日	1.68kWh	1.32kWh	▲0.36kWh(▲21.4%)
レベル4実施日	1.59kWh	1.24kWh	▲0.35kWh(▲22.0%)
レベル5実施日	1.49kWh	1.36kWh	▲0.13kWh(▲8.7%)
平均			▲16.1%

3 省エネ効果の状況



月	日	曜日	レベル	変動させないグループ	変動グループ	省エネ効果
6	29	金	1	100%	100%	----
7	5	木	2	120.2%	108.3%	▲11.9%
	6	金	3	135.5%	109.1%	▲26.4%
	11	水	4	128.2%	102.5%	▲25.7%
	12	木	5	120.2%	112.4%	▲7.8%
平均						▲18.0%

6月29日(レベル1)の13:00~17:00 1世帯あたりの平均電力使用量を100%としたときのDP発動日の平均電力使用量の変化率について、料金を変動させないグループ(42世帯)と料金を変動させたグループ(74世帯)で比較すると、料金を変動させたグループの電力使用量の変化が、平均でおよそ18%少なくなっている。